

SOULMATE
Acoustic



安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

注意

- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乾電池やボタン電池は乳幼児の手の届く所に置かない**：乾電池などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **推奨の電源アダプターまたは電池以外の方法で使用しない**：故障の原因になります。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

はじめに

この度は T-Rex Soulmate Acoustic をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

Soulmate Acoustic は、プリアンプ、エフェクター、ルーバー、D.I. ボックスのオールインワン製品です。アコースティックギターの演奏に必要なツールを全て搭載しました。

- ・インピーダンス切替式 FET 入力バッファー / プリアンプ
- ・高速・高精度チューナー、チューニングピッチ (435-445Hz)。
- ・ステレオマルチエフェクト (コンプレッサー、EQ、モジュレーション、ディレイ、リバーブ、オートフィードバック抑制)
- ・無制限オーバーダブ機能付きルーバー (最大録音時間 5.8 分)
- ・ミキサー、アンプ、オーディオインターフェイスなどに接続するためのアンバランス (6.3mmTS) およびバランス (XLR) 出力

Soulmate Acoustic はすぐにでもお使いいただけますが、その性能を最大限に発揮させるために、知っておくべきことがいくつかあります。

このマニュアルでは、楽器の入力から出力まで、ユニットの各セクション (信号の流れ方向) を説明しますので、数分間でその機能を理解することができます。

すべてが何ををするのか、なぜそれをするのか、そしてそれを使って何ができるのかについてをご説明します。

そして、最高のサウンドを得るために、すべてのノブやスイッチをどこに設定するかは、あなた次第です。

※注意：適切な信号レベル、位相、インピーダンスを得るために本機を調整することは、最初に行うべきことです。アコースティック楽器は、フィードバックの傾向 (モニターやアンプを使用した場合) や出力レベル / インピーダンスに違いがあるからです。また、様々なステージ環境 (人前で演奏することを想定) は、楽器のサウンドに顕著な影響を及ぼします。

インプットステージ

INPUT GAIN/PEAK LED :

このアナログステージは、Soulmate Acoustic の動作条件を設定します。

信号がユニットに入ると、まず FET ベースのバッファーと "INPUT GAIN" と呼ばれるボリュームコントロールに当たります。INPUT GAIN は演奏時に前面の "PEAK LED" が点灯しないように設定してください。さらに重要なことは、演奏時に LED が点灯しない範囲で、できるだけ高く設定することです。LED が点灯したら、LED が点灯しなくなるギリギリまで INPUT GAIN を下けてください。

PHASE SWITCH :

このスイッチは少し特殊で、音の面では何もありません。

しかし、演奏中に奇妙な共鳴やフィードバックが発生した場合には、このスイッチを使用することが重要です。そのような場合の応急処置的なスイッチと考えてください。

大きなハウリングや不要な音の「色付け」は、信号の位相を切り替えることで改善できることがよくあります。これはステージ上のモニターやアンプを使用する際に最も顕著に現れます。

IMPEDANCE SWITCH :

様々なピックアップシステム、マイクロフォン、トランスデューサーで最高の音を出すためには、適切な入力インピーダンスが必要ですが、Soulmate Acoustic は IMPEDANCE SWITCH により、ニーズに合わせて最も理想的な設定にすることができます。

ほとんどの場合、このスイッチも全く何も機能していないように聞こえるかもしれませんが、「インピーダンス」にうるさい楽器を演奏する場合は、このスイッチを切り替えることで、違いを感じられるでしょう。もし、すでにアクティブなプリアンプを内蔵している楽器を演奏するのであれば、違いは分からないかもしれませんが、市販されているピックアップの中には、インピーダンスの恩恵を受けるものがあります。

チューナー

内蔵チューナーは、入力段の直後に信号を取り込む高感度・高精度なチューナーです。
ONにすると、本機の出力はミュートされますが、録音されたループはルーバーで再生できます（「ルーバー」の項を参照）。
ディスプレイには、音名と、フラット（左のLED）かシャープ（右のLED）が表示されます。
ディスプレイの小さなドットは、Gs、Fs、Csのように、音名の「#」を示します。

TUNER PITCH :

ほとんどの場合、楽器は440Hzを基準としてチューニングされますが、アンサンブルによってはもう少し低い、あるいは高いピッチになることもあります。

例えば、クラシックのオーケストラでは、より低い/より高い基準ピッチにチューニングするものもあります。
この基準ピッチを変更するには、まずチューナーの電源を入れます。

そして、背面パネルの「TUNER PITCH」という小さな赤いボタンを押します。

LEDが点滅してピッチリファレンスを調整中であることを示します。

この際は中央の2つの緑のLEDが中心となります。

ボタンを押すたびに、利用可能な周波数が左から右へスクロールします。

左から順に、435 - 445Hzとなります。

正しいLEDが点滅したら、ボタンを押すのを止め、LEDの点滅が止まるのを待ちます。

これでチューナーは再調整され、440Hzではなく任意のピッチにチューニングできるようになりました。

※注意：電源を入れるたびに、チューナーのピッチは440Hzに設定されます。

コンプレッサー

このエフェクトは、演奏の大きなピークを抑え、圧縮します。

このエフェクトの大きな副産物として、演奏する音のサステインが向上するよう感じられます。
ピックで弦を弾くのと、指で弦を弾くのでは、音量が全然違いますよね？ - そういことです。

コンプレッサーの比率は比較的穏やかなので、すべてを圧縮しすぎてしまうことはありません。
ただ、サウンドを均等にし、演奏する音量をより均一にします。

“OOMP”ノブを上げると、より圧縮されます。

その後、コンプレッサーをオフにしたときと同じ出力になるように、“LEVEL”ノブを上げて音量を補います。

モジュレーション

モジュレーション・エフェクトは、実際には2つのエフェクトで構成され、どちらも音に幅と動きを与えることを目的としています。

RATEノブは、コーラスのモジュレーションのスピードを調整しますが、ゼロにすると、エフェクトはデチューンエフェクトに変化します。

ギターのチューニングを狂わせるわけではなく、まるで2人の奏者がユニゾンで演奏しているような、わずかなピッチシフトの効果を生み出します。

DEPTHノブを使用して、両方の効果を増加または減少させます。。

EQ

EQ は、Soulmate Acoustic の中で最もサウンドを変化させるツールであり、また唯一バイパスすることができないツールでもあります。なぜかという、EQ は楽器のサウンドを調整するために必要なものであり、それ自身が「エフェクト」ではないのです。

もしあなたのサウンドが完璧だと思ふのなら、すべてのコントロールを「12 時」にセットしてください。2 連ポットはそれぞれ特定の周波数帯をコントロールし、影響を受ける周波数は、LOW、MD、HIGH の外側のノブで設定します。外側のつまみが設定されている周波数帯を上げるには、内側のつまみを 12 時過ぎの位置に戻します。周波数帯域をカットするには、12 時の位置から下げます。

LOW EQ (下部のノブ) と HIGH EQ (上部のノブ) はシェルピングフィルターで、設定した周波数より低い / 高いすべての周波数がブースト / カットの影響を受けます。

狭い帯域の周波数をコントロールできるため、適度なブーストやカットを行うことなく、これらの帯域を引き出したり、抑えたりすることが可能です。もちろん、周波数スペクトルの一部ではなく、ローエンドの部分全体を上げると、耳には劇的な変化が聞こえます。そのため、より穏やかなブーストを使用することができます。

※注意: EQ は、入力信号の特定の特性を低減または強調するために使用するものであり、楽器のピックアップシステムを変容させるためのものではないにご留意ください。したがって、EQ の設定に関係なく、楽器そのもののサウンドが優れていなければならないほど、全体のサウンドも優れていることとなります。

ディレイ

ディレイエフェクトは、高域を少しカットするように調整されています。これはサウンドにアンビエンスとスペースを提供することを意図しています。

より効果的なサウンドを得るには、レベルを上げ、対応するフットスイッチで演奏している音楽のビートに合わせてテンポを刻むとよいでしょう。

低い設定では、あまり干渉することなく、演奏するノートの周りに深みと空間を作り出すことができます。DELAY LEVEL はディレイのラウドネスをコントロールし、FEEDBACK は繰り返しの量を設定し、TIME はディレイタイムを決定します。

リバーブ

Soulmate Acoustic に搭載された Hall リバーブエフェクトは、アコースティック楽器のために慎重に選択されたものです。

通常の REVERB LEVEL (音量) と DECAFY (残響の長さ) に加え、対応する LEVEL ノブで制御するシマーエフェクトを搭載しています。

シマーは、リバーブと連動して、シンセサイザーのパッド音のようなディケイを生み出します。複数のオクターブの信号を重ね、リバーブとブレンドすることで、結果的にサウンドはシマーなものになるのです。クリエイティブなサウンドを楽しみたい場合は、エクスペッション・ペダルをバックパネルに接続すると、シマーのレベルを自由にコントロールすることができます。

EXP ペダルを挿入すると、前面のノブがバイパスされます。

リバーブは、大きなホールで演奏しているようなサウンドにするのに適しています。

このエフェクトはおそらくアコースティック楽器で最もよく使われるものなので、常にオンにしておいても全く問題ないでしょう。お好みに合わせてシマーエフェクトも追加してみてください。

フィードバックキラー

FB Killer と書かれた小さなトグルスイッチは、アンプやモニターを使用する際にハウリングが発生した場合の強い味方です。

このスイッチを「Up」の位置に合わせると、楽器をハウリング状態にするだけで、Soulmate Acoustic が自動的に問題のある周波数を「計算」し、それを除去してハウリングを停止させることができます。ただ、FB Killer は、フィードバックが発生して初めてその役割を果たすため、通常時では効果が分からないかもしれませんが、サウンドチェックなど、本番前の状況下で便利なツールです。

FB Killer は、その動作の性質上、ごわずかな音の変化を引き起こすことがあります。ハウリングとの戦いは、全体のサウンドの一部である非常に特定の周波数を減衰させるため、一方だけでは成り立ちません。

※注意: 低域を強調したり、非常に大きな音量で再生したり、スピーカーの近くに立ったりすると、自動ハウリング検出機能を備えていてもハウリングを回避することは困難です。サウンドホールプラグの使用、低音域や音量の低減、位相の切り替えなどをまず試してみてください。

ブースト

本体背面の BOOST スイッチと対応する LEVEL ノブは、ノブで設定した量だけ出力音量を上げることができます。

ゼロの状態では、ブーストはかかりません。最大では、エフェクト・セクション（ルーバーは除く）からの信号が約 10dB ブーストされます。これにより、ルーバーの動作に影響を与えずに、「ソロのために音量を上げる」ことができます。

また、「一回り大きい」オーディオをルーバーに録音し、レベルを変化させたループレイヤーを作成することも可能です。

ルーバー

Soulmate Acoustio には録音、再生、オーバーダブを行うことが可能なルーバーが搭載されています。シンガーソングライターやバスカーなどのワンマンバンドには特に役に立つかもしれません。

オーバーダブでレイヤーされた「リズム」やコード進行の上で演奏できるので、2人以上の人が演奏しているように聞こえるからです。

ルーバーはポストエフェクトなので、エフェクトをかけた状態で録音したものは、そのままルーバーに保存されます。同時に、すでに録音されたフレーズも、本機のエフェクトの状態に影響されません。

Soulmate Acoustio のルーバーはペダル形式の他の多くの録音プラットフォームと同じように機能します。

REC/PLAY :

録音するには、REC/PLAY を押します（右側の LED が点灯します）

録音を終了して再生を開始するには、もう一度 REC/PLAY を押します（右側の LED が点滅します）

新しいフレーズを録音する（オーバーダブ）には、REC/PLAY を押します（右側の LED が点灯します）

最初のフレーズで「ループ」の長さが決まります（最大 5.8 分）。

STOP/CLEAR :

STOP/CL を押すと、音声の再生をミュートしたり、録音を停止したりすることができます。

録音を停止した場合、ルーバーは録音した内容を保存し、REC/PLAY スイッチを押すとさらに別の録音を開始します。

再生を停止した場合は、ループの先頭に戻り、REC/PLAY スイッチを押すと再び「再生」を開始します。左側の LED は、どのモードで停止したかを示します。

つまり、再生を停止した場合は点滅し、録音を停止した場合は点灯します。

UNDO/REDO :

複数のフレーズを録音した場合、REC/PLAY スイッチを長押しすることで、最後に録音したフレーズを一時的に削除することができます。

これは、何か録音したけれども間違えてしまった場合に便利です。

もう一度 REC/PLAY スイッチを長押しすると、そのフレーズが復活します。

※ヒント：録音中に REC/PLAY スイッチを押し続けると、ルーバーは最後に録音したフレーズを保存せずにそのまま「再生」に移行します。録音に失敗してもう一度やり直したい場合、録音中に取り消すと、最後に録音したテイクが削除され、そのまま「再生」状態になります。この場合、REC/PLAY を押し、テイクの録音をやり直します。

SAVE :

電源を切ってもループを維持したい場合は、電源を切る前に「STOP」モード（左の LED が点灯）になっていることを確認します。そうすると、現在のルーバーのメモリが保存され、次に電源を入れたときに再生できるようになります。再生中や録音中に電源を切ると、メモリはクリアされ、録音は保存されません。

マスターボリューム

ボリュームペダルで本機の出力量全体をコントロールしたいプレイヤーのために、EXP ペダル入力を搭載しました。これにより、ディレイ、リバーブ、ルーバーからの信号を弱くしながら、楽器信号を下げることで、エフェクトのテールをそのまま残すことができます。楽器信号を下げて、ルーバーのレベルは変わりません。

Soulmate Acoustic とアンプ / P.A. の間にボリューム・ペダルを接続してはどうでしょうか？

入力インピーダンスを設定する機能が失われ、コンプレッサーもペダルの設定によって異なる反応を示してしまうため、内部でボリュームをコントロールすることで、良いところはすべて手に入れ、悪いところはまったくありません。

アウトプット / コントロール

OUTPUT CONNECTOR :

6.3mm TR ジャック (アンバランス) x 2(L/R)

- アンプやミキサー、オーディオ・インターフェースなどのアンバランス入力に接続する。

XLR 端子 (バランス x 2(L/R))

- ステージボックスやミキサーのマイク入力などに使用。

GROUND LIFT :

XLR 出力には GROUND LOFT スイッチが搭載されており、グラウンドループによる過大なハムノイズが発生している場合に有効です。

例えば、ステージ上でアンプをモニター用に使用し (アンバランス出力)、同時にバランス出力から P.A. に接続している場合、ノイズが発生する可能性があります。GROUND LIFT スイッチを押すと、グラウンドループが解除され、ノイズが除去されます。ノイズを感じない場合は、スイッチを "OUT" のままにしておいてください。

LEVEL OUT:

このノブは、ユニット全体の出力レベルを設定し、すべての出力に影響します。



技術仕様

入インピーダンス	1 M Ω /10 M Ω (選択可能)
出インピーダンス	330 Ω (XLR), 1.5 k Ω (TS)
電源	12 VDC 2.1mm センターマイナス (付属)
消費電流	560 mA
最大入力レベル (V _{p-p})	3.5 V _{p-p}
内部デジタル処理	24-bit, 48kHz, 1ms レイテンシー
ルーパーズベック	24-bit, 46kHz, 32-bit フローティングポイント, 録音時間 最大 5.8 分 ,
外部コネクタ	Input, exp. shimmr, exp. vol, ¼" outputs (L/R), XLR outputs (L/R), power inlet
ペダルサイズ (W x H x D) ※ノブ含む	400 x 62 x 148 mm / 15.75 x 2.44 x 5.83 in
重さ (本体のみ)	2 kg / 4.4 lb

保証について

国内正規輸入品の T-Rex 製品には、2 年間の保証が付いています。

製品には万全を期していますが、万が一、故障が発生した際は、以下のお問い合わせフォームからお問い合わせください。

T-Rex Effects お問い合わせフォーム : <https://www.electori.co.jp/t-rex/support.htm>

T-Rex について

デンマークの Vejle に拠点を置く T-Rex Effects は、世界のトップミュージシャンのためにクラシックなエフェクターやシグネチャーエフェクターを製造しています。ハイテクな技術革新と昔ながらの職人技を融合させ、常に素晴らしいトーンを提供します。

T-Rex Effects 総輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。

また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

Made by T-REX Denmark, May 2017



Lars Dahl-Jørgensen
Founder



Sebastian Jensen
Founder



T-Rex Engineering ApS
www.t-rex-effects.com